

埼玉県SDGs 官民連携プラットフォーム 分科会 活動計画書

令和7年度 新規 ・ 継続（令和 年度～）

分科会名称	「水と人をつなぐ、水循環」分科会
分科会提案会員	埼玉県（企画財政部 土地水政策課）
分科会長	埼玉県 企画財政部 土地水政策課長
目的	<p>水は、空にあり、雨となり、地下に浸透し、川となって流れ、また空へと戻っていきます。私たちはそのどこかで水を取り出して利用し、また環境に戻します。</p> <p>県民、企業・団体、行政が相互に連携し、学び、行動することで「健全な水循環」を維持・回復し、持続的に発展する埼玉を実現します。</p> <p>また、県民が力を合わせて生み出してきた水資源と、それを涵養する水源地を守り育てていきます。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px;">    </div>
解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民の手に安全、安心な水が持続的に届けられること ・ 水をどのように手に入れてきたのか、どのように県民の手に届くのかを知ってもらい、水の大切さを知ってもらうこと ・ 水源地の保全、水源の涵養、水インフラの適切な維持更新 ・ 健全な水循環への理解促進
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健全な水循環の推進に係る会員間の情報交換、相互啓発 ・ セミナー等の開催を通じた啓発と、施策や取組の動向等の共有 ・ 子供たちへ水循環や水の大切さについての学びの機会提供 ・ 水の日・水の週間関連行事の相互PR ・ その他水循環推進に係る事業の相互PRや実施支援 <p>※上記は例示であり、本内容以外の活動を実施することも想定しています。</p>
期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 官民連携による活動で、団体や民間企業の社会貢献が広く知られるようになる。 ・ 流域ぐるみの相互啓発、相互連携により水源地の保全が促進される。 ・ 節水、水質保全、水インフラ保全など水循環への理解が深まる。 ・ 健全な水循環の構築に対する相乗的な効果が発揮されることで、SDGs目標の達成に資する。